

平成29年9月7日

都内私立中学高等学校
校 長
教 務 担 当 教 諭 殿
関 係 教 職 員

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会
会 長 近 藤 彰 郎
東京私学教育研究所長 須 藤 勉
教務運営研究会委員長 守 隨 憲 道
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

教務運営研究会「講演会」のご案内

日本社会の変容と教育の課題

実りの秋を迎え、先生方におかれましては益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、百年に一度とも言われる教育改革が進められておりますが、その背景には近年の日本社会が大きく変容していることがあげられます。将来、今の子供たちは現在世の中に存在していない仕事に就くだろうとまで言われています。そこで今回は、東京大学教授で教育社会学者の本田由紀先生にご登壇いただきます。家庭と教育，教育と仕事，仕事と家庭という社会領域間の関係について研究をしてこられた本田先生の力強いご講演からは、変容する社会の中で学校教育が抱える課題と学校教育のあり方についてあらためて考えるよい機会をいただけることでしょう。

これからの教育活動や学校運営に大変参考になるご講演ですので、お誘い合わせのうえ是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成29年11月7日(火) 18:00~20:00 (質疑応答を含む)
受付開始 17:30

2. 会 場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)会議室 千代田区九段北4-2-25 TEL 03(3261)9921 (代)
※ 裏面案内図をご参照ください。

3. 講 師 本田 由紀 先生 東京大学大学院教育学研究科教授

【プロフィール】

東京大学大学院研究科博士課程単位取得退学。博士(教育学)

2008年から東京大学大学院教育学研究科教授。専門は教育社会学。

家庭と教育、教育と仕事、仕事と家庭という異なる社会領域間の関係について調査研究を行っています。

【主な著書】

「若者と仕事」(東京大学出版会)「多元化する「能力」と日本社会」(NTT出版)

「家庭教育」の隘路(勁草書房)「軋む社会」(河出文庫)

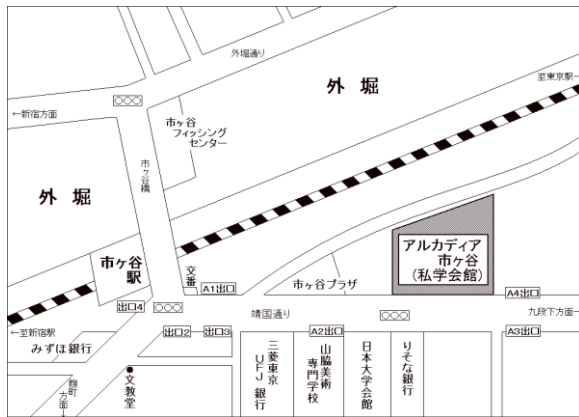
「教育の職業的意義」(ちくま新書)「学校の「空気」」(岩波書店)他多数




4. 内 容 日本社会がこれから世界に開かれていくために求められることとは何なのか。国内外でしっかりと生きてゆける若者を育てるために、中学高校の教育現場ではどのようなことに取り組むべきなのかについて調査研究に基づいて話します。
5. 定 員 約65名（申し込み順⇒定員になり次第締め切ります）
6. 参加費 無 料（当協会会員各校の拠出金と（公財）東京都私学財団からの補助金で運営しております）
7. 申込方法 10月31日（火）までに下記宛に Web もしくは FAX にてお申込みください。
URL [http:// k.tokyoshigaku.com](http://k.tokyoshigaku.com)

東京私学教育研究所	検 索
-----------	-----

東京私学教育研究所 教務運営研究会 担当：渡辺・岡沢・菊地
TEL 03-3263-0544 FAX 03-3263-0560

《案内図》



- 交通のご案内
-  地下鉄 有楽町線・南北線
市ヶ谷駅（1またはA1）出口
 -  地下鉄 新宿線
市ヶ谷駅（A4またはA1）出口
 -  JR中央線（各駅停車） 市ヶ谷駅
上記改札・出口から徒歩約2分

切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

教務運営研究会「講演会」参加申込書〔11月7日（火）実施〕
（中・高合わせて1校3名までの参加とさせていただきます。）

学 校 名	氏 名（ふりがな）	担当教科

上記の通り参加申し込みいたします。

東京私学教育研究所 御中

平成29年 月 日

校 長 _____ (印)

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。（本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です）
申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号：
-----	--------